

認知症に関する活動計画（概要）

和歌山県士会は認知症支援委員会を設置し、現在11名の委員で活動している。

2023年度は、「認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会」をオンラインにて8回行い合計555名（平均69名）の参加を得た（下図）。2024年度も同研修会を企画し、オンラインにて開催を計画している。本研修は、認知症支援における「普及啓発」を目的とし、作業療法士のみならず他の専門職、自治体職員等も参加できる内容としている。これに加え、今年度は地域活動にも力を入れている。大学教員が関わっている地域活動へ参加協力している。「地域で活躍できる作業療法士」の育成を目的に作業療法士自身の視野を広げ、作業療法士の普及啓発に努めている。

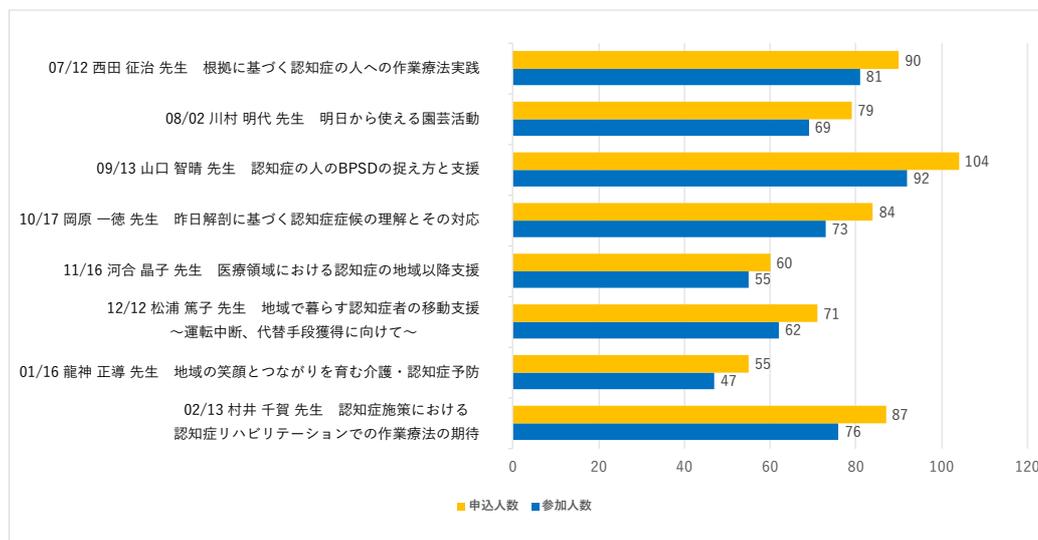


図 2023年度 認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

2023年度は、認知症の人と家族の会和歌山県支部と共同でアルツハイマーデー記念講演会やライトアップ等の企画を行った。2024年度は、記念講演会等の企画、ライトアップの運営等に引き続き継続して協力を行う予定である。

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会和歌山県支部には県士会員が3名世話人として所属している。定例会や月1回の交流会、啓発事業の運営協力を行なっている。2023年度は、JR和歌山駅前での街頭活動に県士会員を4名派遣し、2024年度は5名派遣予定である。また、2024年度は10月に認知症の人と家族の会の全国研究集会在和歌山県で開催予定であり、運営会議に依頼を受けて県士会員を派遣している。

介護予防事業・日常生活支援総合事業

2023年度は、県の認知症予防施策に10名（22回）、認知症サポーター養成講座に1名（19回）、認知症カフェ1名（6回）県士会員を派遣した。2024年度は、認知症予防事業に15名（14回）県士会員を派遣する予定である。